

沿岸・近海漁業資源調査 - (漁場環境調査：魚礁調査)

榊純一郎

【目 的】

海底の状況（地形・底質）、人工魚礁の設置状況等を把握することにより、漁場の効率的利用を図るための知見を得る。

【方 法】

1 鹿児島湾地区広域漁場

平成23年3月11日、鹿児島湾奥に県が設置した魚礁群において、用船した漁船を用い、釣手4人による釣獲試験を実施した。また併せて魚群探知機を用い魚群蝟集状況を確認した。

2 甑島沖浮魚礁

平成23年3月18日、甑島西沖に県が設置した表層型浮魚礁（浮沈式）2基及び県単補助事業により設置した表層型浮魚礁1基において、用船した漁船を用い、曳縄による釣獲試験を実施した。

【結 果】

1 鹿児島湾地区広域漁場

平成20年度設置のA工区（スリスターリフI-2SN型4基・シェルテ-76.0型4基）を魚群探知機にて確認。目立った魚群反応は観察されなかった（図1）。

平成20年度設置のB工区（SKSリ-7E800T型4基・シェルテ-76.0型3基・FP魚礁3.25型38個）を魚群探知機で確認したところ、こちらも目立った魚群反応は観察されなかったが、FP魚礁3.25型を乱積にした漁場（図2）の反応が比較的良かったことから、一本釣による釣獲試験を実施した。

午前9時～11時30分の2時間30分、釣手4人で、マダイ（165～547g）4尾、マアジ（63g）1尾、タマガシラ（103～136g）3尾の計8尾、2kgを釣獲し（表1）、水産有用種の蝟集が確認された。

2 甑島西沖浮魚礁

県設置の下甑島西沖浮魚礁 1は表面水温が15.1 と低く、釣果がなかった。同 2も表面水温が15.2 と低く釣果がなかった。

県単補助事業により甑島漁協が設置した表層型浮魚礁 2は表面水温が15.3 と低く、こちらも釣果がなかった。

計3箇所の浮魚礁漁場を調査したが、釣果がなかったが、同海域におけるヨコワ漁場の表面水温が19～20 であることを考えると、海況条件が整わなかったことが原因の一つと考えられる。

表1 鹿児島湾地区広域漁場（B工区）体長体重測定結果

No.	採捕日	魚種	尾叉長(mm)	全長(mm)	体重(g)
1	3月11日	タマガシラ	179	190	116.8
2	3月11日	タマガシラ	166	179	103.1
3	3月11日	タマガシラ	190	202	136.2
4	3月11日	マアジ	165	-	62.9
5	3月11日	マダイ	195	214	164.8
6	3月11日	マダイ	299	335	546.6
7	3月11日	マダイ	273	307	443.5
8	3月11日	マダイ	268	300	423.8
計					1997.7



図1 鹿児島湾地区広域漁場（A工区）魚群探知機調査

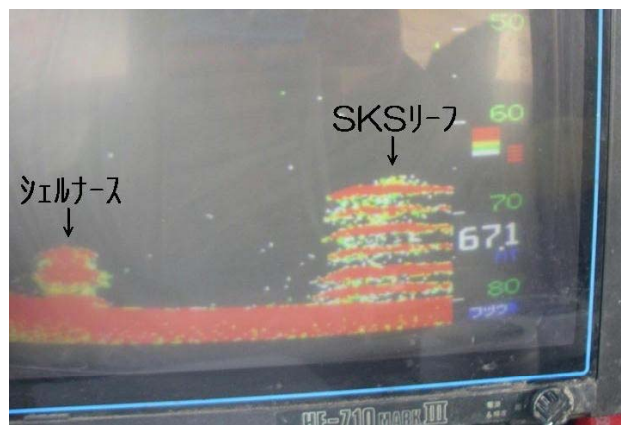


図2 鹿児島湾地区広域漁場（B工区）魚群探知機調査



図3 鹿児島湾地区広域漁場（B工区）魚群探知機調査



図4 鹿児島湾地区広域漁場（B工区）漁獲物一覧

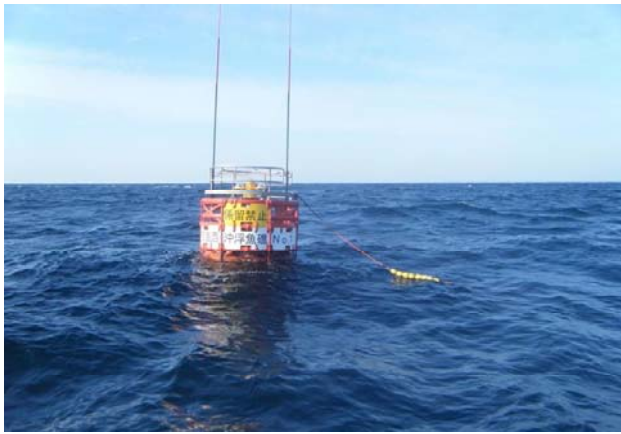


図4 甌島西沖浮魚礁 1(県設置)



図4 甌島西沖浮魚礁 2(県設置)



図5 甌島漁協設置浮魚礁